

## 1. 授業のねらい・概要

ビジネスに関する法律の基本的な事項について、幅広く概略を理解することを目標とします。初めて見る用語が多いかもしれませんが、講義では、できるだけ分かり易く説明します。

将来、会社に就職してサラリーマンとして働いたり、自分で商売を始めたり、両親の仕事を手伝うなど、どのような形であれビジネスに関係する場合、法律は必ず関係します。

就職することやアルバイトをすること自体が労働法に関係します。商品を買ったり売ったりする取引は民法などの売買契約に関係します。法律で禁じられている商品やサービスを販売してしまったり、会社のお金を横領したなどという疑いをかけられた場合は、犯罪について規定している刑法などが関係します。

このように、ビジネスに法律知識は必須であり、是非とも知っておかなければならない事項について、できるだけ分かりやすく解説します。また、平成 21 年から開始された裁判員制度についても説明します。

## 2. 授業の進め方

- ① 50～60 分 配布するレジュメに従って、説明や補足をしながら講義を行います。
- ② 30～40 分 配布する練習問題に回答してもらいます。また、質問を受け付けます。

## 3. 授業計画

|                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 講義紹介        | 9. 民法（債権）      |
| 2. 法律とは        | 10. 労働法        |
| 3. 憲法（ビジネス関係）  | 11. 商法・会社法     |
| 4. 刑法（ビジネス関係）  | 12. スポーツ法      |
| 5. 刑事訴訟（裁判員制度） | 13. 知的財産法      |
| 6. 裁判員制度       | 14. 民事訴訟       |
| 7. 民法（総則）      | 15. 国際取引法・国際私法 |
| 8. 民法（物権）      |                |

## 4. 到達目標

- ① 法律の役割や分類について理解すること。
- ② 「六法」について、基本的な事項を理解すること。

## 5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

- ① 各講義の内容に関する参考文献の該当箇所を読んでくこと（30 分程度）。
- ② 各講義の内容に関するニュースを、新聞やインターネットなどで見た場合は、読んで概要を説明できるようにすること。

## 6. 成績評価の方法・基準

積極性 20%（受講態度等） ＋ 期末試験 80%（筆記試験）

A 80 点以上      B 70～79 点      C 60～69 点      D（不可）60 点未満

## 7. テキスト・参考文献

毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

- ① 石川明編『フレームワーク法学入門』不磨書房 2007 年（2400 円）
- ② 伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門』（第 3 版補訂版）有斐閣双書 2003 年（1260 円）

## 8. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。